


# 2020年度CSR活動／ESGへの取り組み目標と実績

CSR活動の継続的な改善を図るため、年度ごとの目標を設定しPDCAに取り組んでいます。  
本レポートでは、2020年度の目標と実績を、ISO26000<sup>※1</sup>の「7つの中核主題」に対応させてまとめています。  
ESG (Environment／環境・Social／社会・Governance／ガバナンス)への取り組みとして整理しました。

\*当社は2020年度までISO26000を参考に目標・課題を設定・運用してきましたが、  
2021年度以降は、事業における社会や環境への影響評価を考慮したマテリアリティに基づき、指標を設定し、運用していきます。  
詳細については、P11-12をご参照ください。

 [詳細はWEBに掲載] <https://www.daidan.co.jp/sustainability/>



自己評価  目標どおり  未達成

テーマ	取り組み項目	2020年度の目標	2020年度の実績	自己評価	ISO26000の中核主題							掲載ページ	
					組織統治	人権	労働慣行	環境	公正な事業慣行	消費者課題	コミュニティ参画		
環境 (E)	地球環境とともに 環境保全への取り組み	環境マネジメントシステムの計画目標達成 ※P37「2020年度環境目標・活動結果」を参照	温室効果ガス 温室効果ガスの排出増加 エコカーの導入促進 設計提案によるCO <sub>2</sub> 削減										P37
			廃棄物 産業廃棄物の削減 一般廃棄物の増加 産業廃棄物の分別の推進							✓			
			水資源 水資源投入量の増加 (うちオフィスの水資源投入量は削減) 水資源投入量(原単位)の増加										
社会 (S)	お客さまとともに	品質向上への取り組み	品質マネジメントシステムの計画目標達成	・お客さま満足度の向上 ・品質不具合の低減								✓	P39
	協力会社とともに	協力会社との活動	分科会活動の継続	分科会活動の実施								✓	P40
		労働安全衛生 マネジメントシステム	労働安全衛生マネジメントシステムの計画目標達成	・労働災害事故が前年度に比べ8件減少 ・安全成績(度数率・強度率)0.250・0.004					✓				P41
		協力会社とのパートナーシップ	ダイダンはマイスター制度の定着	ダイダンはマイスター認定証の授与 <sup>※2</sup>								✓	P42
	社員とともに	ワークライフバランス・ 社員の労働環境	ダイダンはメンター制度の効果の確認と見直し	各メンターに対して、追加ヒアリングによる状況把握の実施					✓				P43
			技術力の強化	研修計画の大幅な見直しによる技術力の向上					✓				
			人権尊重の啓発を継続	新入社員研修での啓発					✓				
社会とともに	社外に向けた技術情報発信	建設業界への貢献	・一般社団法人電気設備学会全国大会で2回講演 ・公益社団法人空気調和・衛生工学会大会で10回講演他									✓	P45
	社会貢献活動	実施活動回数 360件以上	全国の事業所で自主的に活動 365件									✓	P46
ガバナンス (G)	公正で透明な 事業活動のために	コーポレート・ガバナンス	業務が適正に遂行されることを確保するため、 社会情勢に応じてガバナンス体制を強化	・ダイダンはコーポレートガバナンス指針に基づく適正かつ効率的な経営 ・会社法内部統制システムが適正に機能 ・積極的な情報の適時開示		✓						✓	P47
		コンプライアンス	コンプライアンスの継続的な啓発活動を行い、 独占禁止法その他関係法令等を遵守した事業活動を徹底	・各集合研修および説明会や勉強会を開催し、 法令遵守の重要性を周知徹底 ・コンプライアンスニュース(第24～27号)の発行による啓発		✓	✓				✓		P49
		リスクマネジメント	・本店対策本部マニュアルや、災害発生時の対応を時系列に記したタイムラインを補助ツールとして新たに作成 ・より強固なリスクマネジメントを目指し、リスクマネジメント表の未対応部分や、その他重点課題と思われる事項への対応を引き続き検討	・本店対策本部マニュアル・災害発生時のタイムライン (地震版・風水害版)を作成		✓					✓		P50

※1 ISO26000:企業を含むあらゆる組織を対象とした社会的責任に関する手引き(ガイダンス)です  
※2「マイスター認定式」はコロナ禍のため取り止め、事業所毎での認定証の授与としました。